

映像表現の場

— I —

'93.12.01_(wed.) → 05_(sun.)

京都府京都文化博物館





“増殖するアンソロジー”

カマンベール 1991-1993

	① 15:30~	② 18:15~
12月1日(水)	Aプロ	Bプロ
12月2日(木)	Bプロ	Aプロ

「カマンベール」とは、京都を中心とした関西在住の若い映像作家によって、1991年頃より緩やかに始動した、ビデオ・フィルム・インスタレーション等を手段とする個的映像作品の発表現場です。今回は22本のビデオ作品を2プロにわけてご紹介します。



VIEWフェスティバル1993 in 軽井沢 参加作品集

	① 13:30~	② 15:45~	③ 18:15~
12月3日(金)	Aプロ	Bプロ	Cプロ
12月4日(土)	Cプロ	Aプロ	Bプロ
12月5日(日)	Bプロ	Cプロ	Aプロ

個人映像作家の全国的なネットワークである「VIEW」には、現在、札幌・長野・東京・浜松・京都・大阪・神戸・福岡の各都市で活動する個人・団体が参画しています。同ネットワークが主催する本年度映像フェスティバルから3つのプログラムを紹介します。

【Aプログラム】

ポテンシャルの箱庭 — 関西在住作家新作品展 —

『mo'better-the final love&sex』	下川明子	INST.	1993
『全ての女性も持っているとともに全ての女性もっていないもの』	馬野訓子	VTR	3分 1993
『魚2』	下西 紀	VTR	4分 1993
『アダムとイヴが犯した罪に基づく、人類の生まれながらの罪』	武内優子	VTR	5分 1993
『無題』	中島奈緒美	VTR	5分 1992-93
『SIDS (乳幼児ぼくり病)』	大月奈都子	VTR	17分 1993
『机の女』	原神 玲	VTR	15分 1993
『小さな大きさ』	河瀬直美	16mm	10分 1988
『幸福モドキ』	河瀬直美	8mm	20分 1991

★同フェスで発表された河瀬直美の新作「白い月」(16mm 55分 1993)は、12月11日(金)より1週間、京都朝日シネマにてレイトショー公開されますので、前作をご覧ください。

★なお、同プログラムのビデオ作品(6作品)は、12月6日(月)18:00より、神戸芸術工科大学において、同大学視覚情報デザイン学科主催「イメージの劇場」として無料上映されます。(お問い合わせ/Tel078-794-2112<森下>)

【Bプログラム】

(全作ビデオ作品)

テレフィーチャーズプログラム — 長野県在住作家新作品展 —

◆映像結社テレフィーチャーは、「VIEWフェスティバル1993 in 軽井沢」開催をきっかけに、個人による映像作品を作り続けている軽井沢町ほか長野市在住の作家によって結成された集団です。長野市内での月例上映会など3年間の実績を結晶させ、今後は全国各地の映像関係団体との交換上映・作品交流などを計画しています。

『Deja-vu』	加藤芳雄	6分 1993
『有朋自遠方来』	山岡三紀推	10分 1993
『翻訳機』	内藤 彰	10分 1993
『大人の絵本「見た目です」』	荻原隆雄	15分 1993
『夢』	由井一夫	15分 1993
『遮光 ShadeLight』	西沢正智	30分 1993

【Cプログラム】

(全35作とも8mmフィルム作品)

パーソナル・フォーカス'93 — 3分間8ミリフィルムフェスティバル —

「パーソナル・フォーカス」は、福岡の「フィルム・メーカーズ・フィールド」が主催する3分間8ミリフィルムフェスティバルで、今年12回目を迎えます。「パーソナル・フォーカスは、8ミリフィルム・3分間をただひとつの参加規定とし、寄せられたフィルムは無審査ですべて上映されるアンデパンダンのフィルムフェスティバルです。メディア論としての8ミリフィルムの衰退を語る不毛より、なお生まれ続ける映画との対話を楽しんで下さい。ここから映画は生まれます。」(本年度パンフレットより)

◆いずれのプログラムも無料。
ただし文化博物館の入館料が必要です。

- 主催/京都府京都文化博物館
- 共催/ヴォワイアン・シネマテーク
- 協力/映像ネットワークVIEW
映像結社テレフィーチャー
フィルムメーカーズフィールド
- ◆お問い合わせ/ヴォワイアン・シネマテーク
(☎075-771-8465)
京都府京都文化博物館
(☎075-222-0888)